

令和8年度熱中症関連当初予算案

資料4

※以下の内容は、令和7年12月26日に閣議決定された令和8年度予算政府案のうち、
熱中症関連予算案をとりまとめたものである。

省 庁 名	令和8年度 当初予算額（案） （令和7年度 当初予算額） 【令和7年度 補正予算額】	主 な 施 策 概 要 （令和7年度に実施した取組内容、令和8年度に実施予定の取組内容等）
内閣府	通常業務の一環として実施 プッシュ型支援のより迅速かつ確実な実施に必要な経費 732,860千円 (2,749,000千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府防災情報のページや各自治体への事務連絡の発出などにおいて、災害時における熱中症予防に関する普及啓発を、リーフレットなどを用いて実施。 ・災害が発生し、災害救助法が適用された都道府県に対して避難所の運営にあたっては熱中症対策にも留意するように通知を発出。 ・大規模災害発生時において、被災自治体からの具体的な要請を待たずに、熱中症対策に必要なクーラー等の冷房機器を含む、被災者の命と生活環境に不可欠な必需品を国が調達し、被災地に緊急輸送する、プッシュ型支援を実施。
こども 家庭庁	こどもの事故防止に関する取組の推進（こども政策推進調査費） 2,588千円（2,588千円）の内数 保育所等における空調設備の整備 就学前教育・保育施設整備交付金 22,932,173千円（24,461,832千円）の内数 【30,617,831千円】 の内数	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの中でも特に未就学児を対象として、予期せず起こりやすい事故とその予防法・対処法のポイントをまとめたハンドブックを作成し、地方公共団体、事業者、関係団体への情報提供等を実施。 ・就学前教育・保育施設整備交付金の大規模修繕等において空調設備の設置を支援している。

	<p>保育対策総合支援事業費補助金 46,271,604千円（46,410,687千円）の内数</p> <p>次世代育成支援対策施設整備交付金 6,651,786千円（6,651,786千円）の内数 【9,435,726千円】の内数</p> <p>子ども・子育て支援施設整備交付金 6,741,270千円（9,067,883千円）の内数 【832,327千円】の内数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育対策総合支援事業費補助金の保育環境改善等事業において、冷房設備を設置するための改修等を支援している。 ・児童福祉施設等について、次世代育成支援対策施設整備交付金の補助メニューのひとつである大規模修繕等として空調設備の設置等を支援している。 ・放課後児童クラブ及び病児保育施設について、子ども・子育て支援施設整備交付金の補助メニューのひとつである大規模修繕として空調設備の設置等を支援している。
消防庁	<p>救急業務に関する調査の統計処理業務 6,846千円（6,846千円）の内数</p> <p>政策広報・普及啓発用資料 2,732千円（2,732千円）の内数</p> <p>通常業務の一環として実施</p>	<p>熱中症による救急搬送人員調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の消防本部を調査対象とし、週毎に速報値、月毎に確定値を公表する。 <p>熱中症予防啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策リーフレットや、予防啓発コンテンツ（ビデオ、イラスト、音声メッセージ、ポスター、Xを用いた熱中症予防に対する注意喚起及び情報提供を行う。 ・防災行政無線の戸別受信機をはじめとする情報伝達手段を活用した情報提供について、災害情報伝達手段に関するアドバイザー派遣や各種会議等を通じて地方公共団体へ周知する。
文部科学省	<p>公立学校施設整備費 70,802,071千円（73,130,007千円）の内数 ※内閣府で計上している沖縄分を含む 【255,461,008千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校等について、地方公共団体からの計画を踏まえ、空調設備の設置を支援している。（公立小中学校等の普通教室における空調設置率は令和6年9月1日時点で99.1%となった。）更なる整備の加速化のため、令和7年度補正予算以降、避難所となる学校体育館空調整備の補助について、補助上限や補助単価を上げて補助を行っている。（令和7年5月1日時点で23.7%）

	<p>】の内数 ※内閣府で計上している沖縄分を含む</p> <p>私立学校施設整備費 9,062,929千円 (9,050,067千円) の内数 【14,576,835千円】 の内数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私立学校の施設については、私立学校施設整備費補助金の補助メニューのひとつである施設環境改善整備事業において、空調設備の設置を支援している。(私立小中高等学校等の普通教室における空調設置率は令和6年4月1日時点で97.4%。)
スポーツ庁	<p>体育・スポーツ施設整備費 (公立学校施設整備費72,130,007千円 (72,786,487千円) の内数 ※内閣府で計上している沖縄分を含む 【208,886,446千円 (うち空調設備整備臨時特例交付金については79,181,777千円)】の内数 ※内閣府で計上している沖縄分を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設について、地方公共団体からの計画を踏まえ、空調設備の設置を支援している。令和6年度からは、避難所となる社会体育施設の環境整備を推進するため、空調設備(新設)について、補助率を1/3から1/2に嵩上げ(令和12年度までの時限的措置)。
文部科学省 ・ スポーツ庁	<p>通常業務の一環として実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における熱中症事故防止に関する情報を集約したポータルサイト及びスポーツ庁のホームページ等を通じた情報提供を実施。 ・学校等における熱中症事故の発生状況や対策状況等を把握しつつ、普及・啓発活動を実施。
厚生労働省	<p>熱中症予防対策の普及啓発の強化 19,413千円(19,527千円)</p> <p>(労働基準局安全衛生部労働衛生課) 通常業務の一環として実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症の予防対策をまとめたリーフレットの作成・配布による普及啓発を行う。 ・リーフレット等を活用し、都道府県労働局や労働基準監督署において熱中症予防対策について周知・指導を行う。

	委託事業 31,111千円 (31,111千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における熱中症予防対策をまとめたポータルサイトの運営等を引き続き実施予定。 ・専門家による検討委員会を設置し、事業場における熱中症予防対策を講ずるための教育ツール等を作成予定。 				
農林水産省	<p>持続的生産強化対策事業のうち農作業安全総合対策推進35,619千円(30,973千円)の内数</p> <p>通常業務の一環として実施</p> <p>スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業2,530,000千円(30,000千円)の内数【15,658,000千円】</p> <p>スマート農業・農業支援サービス事業加速化総合対策事業2,530,000千円の内数(30,000千円)【15,658,000千円】</p> <p>みどりの食料システム戦略推進交付金の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策の啓発資料の作成・普及 農作業における熱中症対策のため、熱中症対策アイテム、熱中症等声かけ期間等を啓発したパンフレット、事例集を作成し、研修会・セミナーの開催により効果的な啓発・普及を図る。 ・労働安全の専門家による農業現場の安全診断の実施(熱中症対策を含む) ・農業者の安全意識向上対策※1と農作業の省力化※2により熱中症等のリスクを低減する「農作業における熱中症等対策総合パッケージ」を取りまとめ、関係機関を挙げて強力に推進。 <p>※1：農業者の安全意識向上対策</p> <table border="1" data-bbox="625 922 1457 1330"> <tr> <td data-bbox="625 922 753 1084">4月～6月</td> <td data-bbox="753 922 1457 1084"> 熱中症対策研修実施強化期間における研修実施の推進 都道府県や農作業安全関係団体等による熱中症対策に関する研修の実施を全国的に推進。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 1084 753 1330">7月～9月</td> <td data-bbox="753 1084 1457 1330"> 夏の熱中症等対策声かけ期間の新設 ① 農業者向けの注意喚起チラシの配布 ② 各種会合や農業生産資材の販売・配達等の機会を捉えた声かけ ③ SNS、防災無線、広報誌など様々な媒体を活用した声かけ </td> </tr> </table> <p>※2：熱中症等のリスクを低減するホワイト生産方式への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマート農業技術の導入 自動化技術やIT技術の活用を通じて、省力化・軽労化。 (例) ・水管理の遠隔操作や自動化 ・生育予測システムによる業務量の平準化 ○農業支援サービスの活用 作業の外部化を通じ、農業者の高温暴露時間を軽減。 (例) ・ドローンによる農薬・肥料散布作業の委託 ・リモコン草刈機を有する事業者への作業委託 ○農作物の高温対策 農作物の高温対策を通じて、農業者の労働環境も改善。 	4月～6月	熱中症対策研修実施強化期間における研修実施の推進 都道府県や農作業安全関係団体等による熱中症対策に関する研修の実施を全国的に推進。	7月～9月	夏の熱中症等対策声かけ期間の新設 ① 農業者向けの注意喚起チラシの配布 ② 各種会合や農業生産資材の販売・配達等の機会を捉えた声かけ ③ SNS、防災無線、広報誌など様々な媒体を活用した声かけ
4月～6月	熱中症対策研修実施強化期間における研修実施の推進 都道府県や農作業安全関係団体等による熱中症対策に関する研修の実施を全国的に推進。					
7月～9月	夏の熱中症等対策声かけ期間の新設 ① 農業者向けの注意喚起チラシの配布 ② 各種会合や農業生産資材の販売・配達等の機会を捉えた声かけ ③ SNS、防災無線、広報誌など様々な媒体を活用した声かけ					

	うちグリーンな生産体系加速化事業574,000千円(612,000千円)の内数【4,000,000千円】	<p>(例) 遮光資材、細霧冷房、天窓、ヒートポンプの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防庁による救急搬送人員データの更新 消防庁による熱中症による救急搬送人員データを追跡し、農林水産省ウェブサイトにて農作業等における都道府県別の搬送者数のデータを毎週、毎月更新。 ・ 研修の実施 農業者等に対する熱中症対策等に関するオンライン研修を実施。
経済産業省	通常業務の一環として実施	・ 熱中症対策を目的とした、エアコン早期試運転の広報を、環境省、業界団体と連携して実施。
国土交通省	ヒートアイランド対策として実施	・ ヒートアイランド対策に関する施策として、「地表面被覆の改善」、「都市形態の改善」等を実施。
観光庁	<p>通常業務の一環として実施</p> <p>【令和7年度補正予算】 地方誘客促進に向けたインバウンド安全安心対策推進事業 【880,000千円】の内数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語で外国人患者を受け入れる医療機関等の関連情報を発信する。また、訪日外国人等に熱中症予防行動を促すための熱中症等関連情報をプッシュ型で通知する災害時情報提供アプリの活用を促す。 ・ 災害時に避難所となる観光施設等に対し熱中症対策に資する設備の導入に係る費用を一部支援。
気象庁	通常業務の一環として実施	・ 全国各地の気温等の観測情報及び熱中症警戒アラート等の予測情報の提供。

<p>環境省</p>	<p>熱中症対策推進事業 449, 832千円 (404, 737千円) の 内数 【13, 298千円】 の内 数</p> <p>【令和7年度補正予 算】 熱中症による健康被 害を防ぐため、高齢 者等へのアウトリー チを強化するための 調査等を実施 【130, 000千円】 の 内数</p> <p>熱中症予防情報サイ トに係る経費 82, 356千円 (89, 728千円) ※デジタル庁計上予算</p> <p>気候変動影響評価・ 適応推進事業 490, 265千円 (480, 000千円) の 内数【56, 259千円】 の内数</p> <p>建築物等のZEB化・ 省CO2化普及加速事 業のうち、省CO2化 と災害・熱中症対策 を同時実現する施設 改修等支援事業の一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症に関する普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「熱中症予防強化キャンペーン」を実施。 ・熱中症環境保健マニュアルやリーフレット、メディアを活用した普及啓発を実施。 ・環境省 LINE 等により熱中症警戒情報を発信。 ・熱中症特別警戒情報等の発表の前提となる情報及び熱中症患者発生に係る情報を収集、整理、分析及び提供。 ・独立行政法人環境再生保全機構において、熱中症対策に関して、地域の団体や企業との協働等に取り組む地方公共団体等の職員を支援し、優れた取組を取りまとめるとともに地方公共団体等を対象にした研修を実施。 ・改正気候変動適応法や熱中症対策実行計画に基づく熱中症対策の効果、国民に熱中症対策を促す普及啓発の手法や媒体等の有効性を検証し、熱中症対策実行計画の見直しを見据えた更なる対策の方向性を検討する。 ・新規技術等を活用した高齢者等へのアウトリーチの強化に関して実現可能性調査事業を実施 ・暑さ指数（WBGT）を熱中症予防情報サイト等で提供し、認知度向上・行動変容に繋がる情報発信を行うと共に、算出する暑さ指数（WBGT）の精度向上を図る。 ・次期気候変動影響評価に向けて、暑熱を含む各分野における科学的知見の収集・整理や評価方法の検討を行う。 ・気候変動適応広域協議会や地方公共団体向けの研修等を実施し、熱中症関連施策を含めた各分野における気候変動適応施策について、地方公共団体や関係府省庁と情報共有を行う等の取組を実施。 ・省CO2化が図られ、かつクーリングシェルターの指定を受けられる場合、既存建築物への高効率空調等の設置費用の一部を支援している。 ・平時の省CO2化と同時に地域の熱中症対策とレジリエンス性能の向上を目指し、クーリングシェルターや災害時の活動拠点としても利用可能な独立型施設（コンテナハウス等）
------------	--	---

	<p>部</p> <p>6,700,000千円の内 数【4,800,000千円 】の内数</p>	<p>に対して、高機能空調等の導入支援を行う。</p>
--	--	-----------------------------